



TOKYO ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

生きること活かすこと

東京六本木ロータリークラブ会長

2014年1月20日発行 第380号

2013-2014年度 No. 20



今日のプログラム

平成26年1月20日

『会長・副会長・幹事 新年挨拶』
『国際奉仕委員長からの報告』



新年挨拶

会長 平松和也



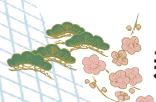
新年のお慶びを申し上げます。

「生きること活かすこと」をテーマに上半期を過ごして参りました。皆様方が当クラブを楽しんで来られたと信じています。当クラブを各々の立場で活用して下さったものと確信しています。

昨年は、やむを得ないご事情を伺い、1名の退会を承認しました。年が替わり、複数の方から入会のお申し出を頂戴しているとの報告を受けています。当クラブに入会して良かったと受け止めて下さるよう、お迎えいたしましょう。

年度を超ますが、本年11月に当クラブは10周年を迎えます。12月8日には10周年記念式典を開催することを予定しています。皆様にとっても、ご参集下さるゲスト・ビジターの皆様方にとっても意義と意味のある式典開催を目指して参ります。

皆様の本年のご活躍をご多幸を祈念申し上げます。



新年挨拶

幹事 渡辺美智子



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。幹事を拝命してからの上半期は、あっという間に過ぎてしましましたが、会員の皆様に助けられ、また沢山のご協力を頂きましたことに改めまして感謝申し上げます。下半期は、昨年に続きミクロネシア短期大学への日本語教育支援活動や、従来の地区大会から「新しいプログラム」を立案しての地区大会の開催、そして、本年度はシドニーで国際大会が開催されます。

次年度10周年を迎える当クラブによりまして記念式典までの約1年、その半年にあたる下半期は、一層充実したクラブ運営を目指し、次年度にスムーズにバトンタッチができると願っております。私も新たな気持ちで、任期を全うするつもりです。引き続きまして会員の皆様のご指導、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

最後に、会員の皆様のご多幸とご活躍を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



東京六本木ロータリークラブ

TOKYO
ROPPONGI
ROTARY CLUB



2013年12月16日 『クリスマス夜間例会』



クリスマス夜間例会が12月16日に無事終了いたしました。

当日は会員とゲスト合わせて61名の方々にご参加頂き、かなり盛大な会となりました。

今回はフィリピン出身で現在日本で活躍されているJAYさんをお迎えし、河野会員率いる六本木ロータリークリスマスバンドが盛り上げてくれました。JAYさんは歌手の傍らボランティア活動も熱心に行っており、今回のCD販



佐藤特別代表による乾杯
売の売上の一部を今年の12月にフィリピン全土を襲った台風ハイエンの被災地に向けた救援物資のために使うとの事でした。



六本木ロータリークリスマスバンドとJAYさん



歌って…踊って…



最後は「手に手をつないで」

寄付金の贈呈

また、六本木ロータリークラブとしての募金箱も各テーブルを回させていただき、合計で66,640円+100ドルが集まりました。この寄付金につきましてもJAYさんを通じて被災地に贈って頂けるそうです。

スローからアップテンポまで、最初から最後まで楽しませてくれました。また当初予定していなかったアンコールでは歌って踊っての大乱舞(笑)となり、テーマであった「ジョイフルクリスマス」その通りとなりました。ご参加頂きました皆さまでありがとうございました。

(記：親睦活動委員会 三田大介)





2013年12月9日 『Arts鑑賞会』

12月9日の例会終了後「森美術館Arts鑑賞会」として、「六本木クロッシング2013[アウト・オブ・ダウト]展」を鑑賞に行きました。

「六本木クロッシング2013[アウト・オブ・ダウト]展」は、【OUT OF DOUBT！来たるべき風景のために疑うことからはじめよう】をキーワードに、日本のアートシーンを総覧する3年に一度の展覧会シリーズ「六本木クロッシング」の4回目であり、本展では、東日本大震災以降明らかに高まっている社会的な意識を反映しつつ、日本の現代アートの「いま」を、歴史やグローバルな視点も参照しながら問い合わせ、これまでのあらゆる社会通念や既存の制度に向けられた疑念（ダウト）から、アートを通じてどのような生産的な議論を生み出せるのかを問う展覧会です。

展示概要としては、1970～80年代生まれの若手を中心に、世代の異なるアーティストや在外／日系アーティストも含む29組の芸術的実践を通して、先の見えない日本の次のステージにどのような風景が見えてくるのか、観客のみなさんと一緒に考えるという、とても素晴らしい企画展です。

印象深い作品としては、

- ・日本の原発政策にまつわる現代史を痛快に暴き出す風刺的木版画、風間サチコさんの《獄門核分裂235》
- ・近代文明と産業化社会、混迷する現代社会の矛盾を、島を拠点にした壮大なプロジェクトで明らかにする柳 幸典さんの《ユーラシア》
- ・福島に向き合い、考え、音楽や詩やアートで発信する!プロジェクトFUKUSHIMA!の《福島大風呂敷》

などが日本大震災というキーワードとともに心に響いた作品でした。

また、インカムで聞く森美術館学芸員の解説も素晴らしく、楽しく学べるイベントになりました。

(記：広報・週報編集委員会 高柳公康)





例会日》月曜日 12:30 – 13:30 例会場》グランドハイアット東京 (TEL : 03-4333-1234)



■ ■ ニコニコBOX情報

佐藤 晃一さん(特別代表)

本日ご招待有難度ございました。来期の10周年を迎えて頑張りましょう。

安間 百合子さん

メリークリスマス！
今年も大変御世話になりましたこと感謝申し上げます。

篠塚 博さん

2014年、良い年になりますように。

中山 祥弘さん

今年も楽しいロータリーでした。感謝。
家族での参加です。よろしくお願ひします。

宇佐見 千嘉さん

今年もいよいよクリスマス例会となりましたね。
皆さま一年ありがとうございました。

小笠 裕子さん

今年一年お世話になりました。来年も、またよろしくお願ひいたします。

柏原 玲子さん

メリークリスマス！
今年一年間ありがとうございました。来年も宜しくお願ひいたします。

大橋 寛治さん

クリスマス例会おめでとうございます。
ゲストの天野様のご出席を大いに歓迎いたしたいと思います。

末松 亜斗夢さん

入会して2回目のクリスマス夜間例会です。
来年もよろしくお願ひします。

中川 勉さん

一年間ありがとうございました。

杉本 潤さん

親睦活動委員会の皆様、今夕の準備、有難うございました。

平松 和也さん

皆様、クリスマス夜間例会を、大いに楽しみましょう。

山本 良樹さん

メリークリスマス。来年も皆出席を目指して…。

12月 16日 合 計 73,000円

累 計 1,035,000円



■ ■ 次回のプログラム

平成26年1月27日

会員卓話『私の履歴書』『私の業界』

秋津 壽男 様
安井 悅子 様

12月16日の例会出席率

- ・会員の例会出席数(出席率) 31名 (65%)
- ・ゲスト・ビジターの参加者数 28名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。



この印刷に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます

東京六本木ロータリークラブ

会長 平松 和也 幹事 渡辺 美智子 広報委員長 安井 悅子 片岡 雅敦 広報委員長 小篠 ゆま

事務局) 〒106-0031 東京都港区西麻布3-2-13 コートアネックス六本木503号室 TEL:03-6721-1555 URL:<http://www.tokyoroppongi-rc.jp/>